

ブラックペパー

成熟したコシヨの実を果皮ごと乾燥させたブラックペパーのピリツと刺激的な辛さと香り…。スパイスの王様とも称されるペパーは、中世のヨーロッパでは金1オンスとペパー1オンスが交換されたりお金の代用として使われたほど、古来珍重されてきました。



日本のシェフに、**本物のスパイスを**

株式会社ギャバン

>>> P5-6

ハウス食品グループより
株主のみなさまへ

ハウスの こころ

第71期 [中間期]

2016年4月1日 → 2016年9月30日

CONTENTS

P1-2
第70期 定時株主総会のご報告

P3-4
業績・財務ハイライト

P7-8
製品FOCUS シチュウの季節がやってきた!

P9
株主のみなさまへのお知らせ

P10
コーポレートデータ

裏表紙
ハウス食品グループ
ファミリーコンサートにご招待

食でつなぐ、人と笑顔を。



<<< 2016年9月末日現在、当社株式を100株以上ご所有の株主さまに
「ハウス食品グループ ファミリーコンサートのご案内」を同封しております。

第70期 定時株主総会のご報告

2016年6月28日(火)に「第70期 定時株主総会」をリーガロイヤルホテル(大阪)で開催いたしました。業績や中期計画の進捗状況などの事業報告と議案をご説明した後に、質疑応答を実施し、13名の株主さまよりご意見やご質問をいただきました。その後すべての議案が承認・可決され、1時間41分で閉会いたしました。ご出席いただきました株主さまにおかれましては、改めて御礼申し上げます。頂戴いたしましたご意見などにつきましては、今後の参考にさせていただきます。

Q&A 質疑応答

株主総会での質疑応答の一部を
ご紹介いたします。

Q. 世界的な和食ブームの中、
欧州やその他の地域には進出しないのですか？

A. 現在の当社グループの海外事業は、アメリカ、中国、ASEANを重点エリアとした展開ですが、将来的には、世界的な和食の展開の可能性や重点エリア以外での展開も検討し、方向付けするべきだと考えております。2016年4月には、インドネシアで株式会社ハウス&ヴォークス インドネシアを設立しており、インドネシアを中心としたハラール市場へのカレーの供給を進めてまいります。



Q. 涙のでないタマネギ「スマイルボール」の、
今後の展開を教えてください。

A. 第五次中期計画の新規事業テーマの一つである「スマイルボール」は、目にしみにない、辛い、生のまま食べられるタマネギです。2016年3月期は、テスト販売としてお客さまの需要について調査いたしました。2017年3月期の収穫量は10トン程度を予定しており、テスト販売を継続してまいります。タマネギの種を増やすことを喫緊のテーマに、生産量の拡充に取り組んでまいります。



“生でそのままおいしいタマネギ”

スマイルボール



Q. 株主限定イベントはありますか？

2016年3月に、初めての株主さま工場見学会をハウス食品静岡工場で開催し、約30名の株主さまにご出席いただきました。社長以下、役員も数名参加し意見交換をいたしましたほか、工場のラインの見学や当社製品による昼食会、またスパイスカレッジを実施いたしました。株主さまとの交流は、これからも定期的に続けてまいります。

※この冊子の最終ページに「ハウス食品グループ ファミリーコンサート」への株主さまご招待企画のご案内を掲載しております。



Q. (株)壺番屋をグループ会社化したメリットについて教えてください。

原材料の調達からお客様の消費にいたるまでのバリューチェーンにおいて、メーカーであるハウスと、直接お客さまとの接点をもつ壺番屋とは、互いに補完関係にある、またとないパートナーです。国内における品質保証力の向上や、海外レストラン事業推進の強化など、壺番屋とハウスがタッグを組み、国内外にカレーの世界をさらに広げてまいります。

A.



株主のみなさまへ

日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。2017年3月期第2四半期の業績につきまして、ご報告申し上げます。

昨年末の(株)壺番屋グループ化に続き、当第2四半期連結累計期間においては、2016年6月に業務用スパイス専門メーカーの(株)ギャバンをグループに迎え入れました。原材料の調達からお客さまへ製品・サービスをお届けするまでのバリューチェーンの事業領域を拡大することで、グループとして新しい価値を創造する力の更なる強化に努めてまいります。

業績につきましては、次ページに詳細を記載しておりますが、連結売上高は(株)壺番屋および(株)ギャバンの新規連結効果もあり前年同期比21.9%の増収、連結営業利益は前年同期比32.3%の増益となりました。

また、株主のみなさまに当社グループの事業活動をよりわかりやすく知っていただくために、今回より本冊子をリニューアルいたしました。さらに、株主さまとの交流を深めるためのイベントとして「ハウス食品グループ ファミリーコンサート」へのご招待を新たに企画しております。詳細を後段でお知らせしておりますので、ぜひご覧ください。今後も、株主のみなさまとのコミュニケーションを継続して深めてまいりたいと考えておりますので、どうぞご期待ください。

なお、2017年3月期の中間配当金は前期と同額の1株当たり15円とし、中間配当金とあわせた当期の年間配当金は1株当たり30円を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ハウス食品グループ本社
取締役社長

浦上 博史



業績・財務ハイライト

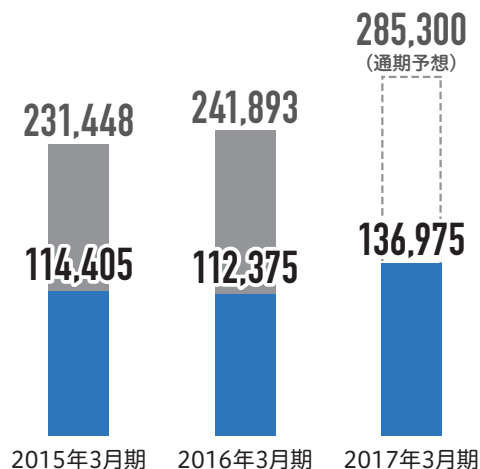
当第2四半期連結累計期間における経営環境は、国際経済の不確実性が高まるなど先行きへの不透明感が強まる一方、国内においても少子高齢化や生産人口の減少を受け、市場の成熟化が一段と進展しております。食品業界におきましても、一部で消費マインドの停滞がみられ、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは、前連結会計年度より開始した第五次中期計画の2年目を迎え、「「食で健康」クオリティ企業への変革」をテーマに、国内事業の収益力強化と新規需要の創出、海外事業の成長加速に向けた施策を進めております。

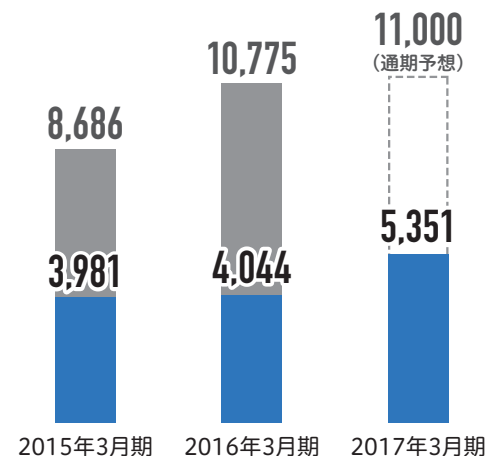
売上面につきましては、香辛・調味加工食品事業が好調に推移したことに加え、(株)壱番屋および(株)ギャバンの新規連結効果が寄与したことで、為替の影響による海外関係会社の円換算額の減少を吸収した結果、第2四半期連結累計期間の売上高は1,369億75百万円、前年同期比21.9%の増収となりました。

利益面につきましては、増収効果に加え、マーケティングコストの効果的運用を徹底したことなどにより、営業利益は53億51百万円、前年同期比32.3%の増益となりました。経常利益は53億77百万円、前年同期比12.2%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、(株)ギャバン株式の追加取得に伴う負ののれん発生益や段階取得に係る差益などの特別利益が増加したことなどから42億8百万円、前年同期比42.6%の増益となりました。

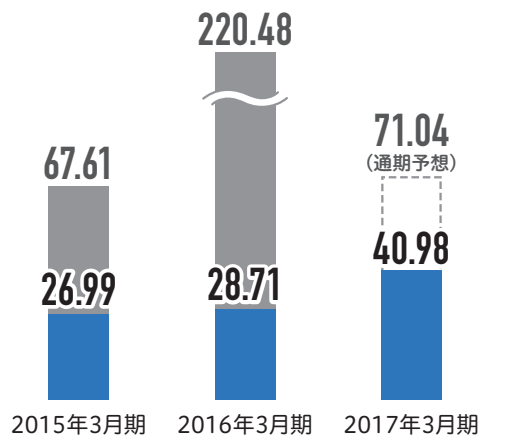
売上高 (百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



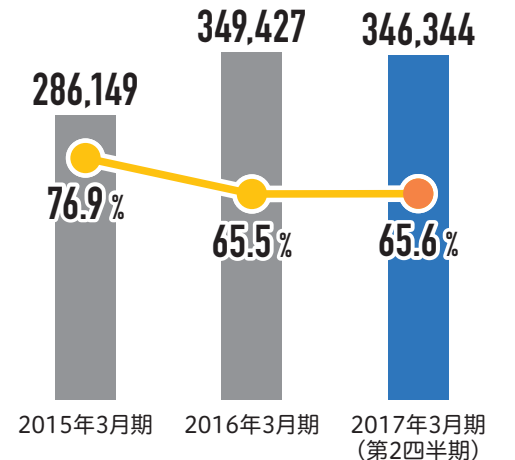
営業利益 (百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



1株当たり当期純利益 (円) ■ 第2四半期 ■ 通期



総資産 (百万円) / 自己資本比率 (%) ■ 第2四半期 ■ 通期

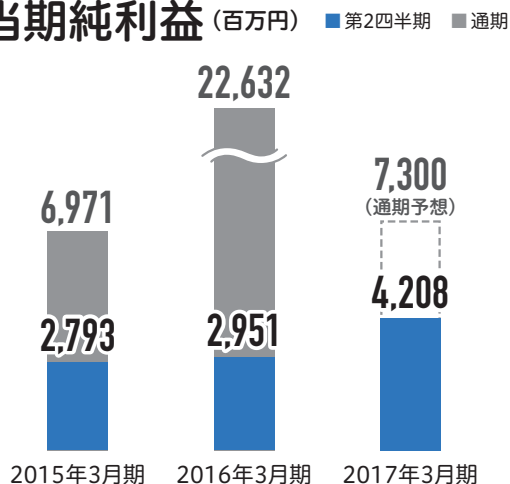


詳しい財務情報はこちら

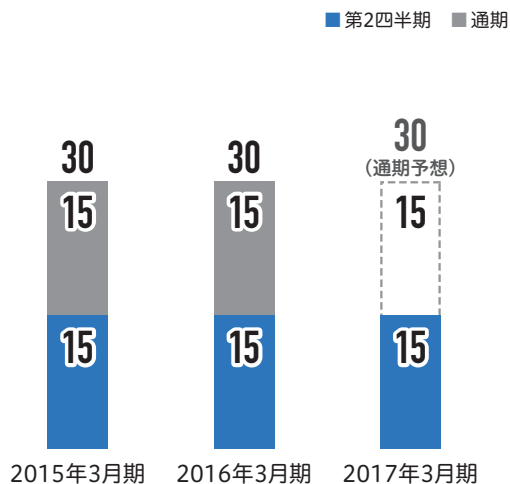
ハウス食品グループ IR

検索

親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)



1株当たり配当金 (円)



香辛・調味加工 食品事業

売上高 **623** 億円
前年同期比 109.4%

営業利益 **36.2** 億円
前年同期比 156.6%

- ルウカレー、レトルトカレーは、前年同期に発生した価格改定に伴う一時的な需要の停滞が解消し、主力製品の販売が伸長。
- 「プロクオリティ」などのお客さまニーズに対応した製品の市場導入を進める。

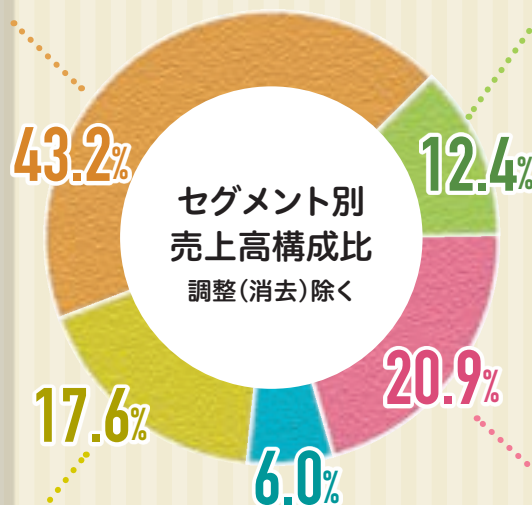
※当第2四半期連結会計期間より(株)ギャバンを連結業績に組み入れております。

外食事業

売上高 **254** 億円
前年同期比 700.7%

営業利益 Δ **1.0** 億円
前年同期比 —

- (株)番屋は、既存店の売上強化を最重要課題として様々な取組を行い、堅調に推移。
- 営業利益は(株)番屋のグループ化に伴うのれん等の償却負担もあり97百万円の営業損失。
- 中国、台湾におけるレストラン事業を(株)番屋主導の体制へ再編することを決定。



健康食品事業

売上高 **179** 億円
前年同期比 96.4%

営業利益 **11.3** 億円
前年同期比 116.1%

- 「ウコンの力」は、お客さまの飲酒シーンが多様化する中でライトユーザーの需要が軟調に推移し、シリーズ全体の売上は前年を下回る。
- ビタミン製品は、PET製品が低調となるも収益基盤の強化に向けて育成に努めた「1日分のビタミン」は伸長。

その他 食品関連事業

売上高 **302** 億円
前年同期比 100.6%

営業利益 **4.3** 億円
前年同期比 —
(前年同期は営業損失62百万円)

- ハウス物流サービス(株)は、収益構造の強化に向けた取組を推進。
- (株)デリカシェフは、総菜新工場稼働に伴う初期コストが解消したほか、生産能力増強と生産効率向上に努め、収益力を改善。
- 2016年4月に(株)堀江大和屋を吸収合併した(株)ヴォークス・トレーディングは、経営資源の集約化、調達・販売力の強化に取り組む。

海外食品事業

売上高 **86** 億円
前年同期比 93.9%

営業利益 **7.7** 億円
前年同期比 119.1%

- 米国事業は、健康志向を背景に高付加価値製品が広く取り扱いを伸ばす。
- 中国事業は、家庭用と業務用の両輪から日本式カレーの浸透に努める。
- 米国、中国とも為替の影響で円換算では減収となるも、現地通貨ベースでは増収。
- 東南アジア事業は、タイにおける機能性飲料事業が好調。

※前期の東南アジア事業は、決算日変更により9カ月の変則決算になります。



株式会社ギャバン

日本のシェフに、 本物の スパイスを

2016年6月、株式会社ギャバンを
ハウス食品グループに迎え入れました。

業務用香辛料の調達・販売を主な事業とする
株式会社ギャバン。ここでは株式会社ギャバンの
事業内容と主力製品についてご紹介します。

会社概要

企業理念

スパイスとユニークな食材の提供を通じて、
プロのおいしさ・感動の創造に貢献する

GABAN®の想い

—日本のシェフに、本物のスパイスを—
1954年、創業者たちの熱い想いによって誕生した(株)ギャバンは、この志を脈々と受け継ぎ、つねにプロ視点での製品品質を追求し続けています。

GABAN®

所在地	東京都中央区入船一丁目9番12号
設立	1954年3月11日
資本金	2,827百万円 (2016年3月31日現在)
従業員数	125名 (2016年3月31日現在)
関連会社	Gaban Spice Manufacturing (M) SDN. BHD.
営業品目	香辛料の輸入・製造販売 輸入食品販売

製品のご紹介

シェフのみなさまに厨房で親しまれてきたブルーのパッケージはGABAN®の代名詞です。GABAN®ブランドのシンボルであるブラックペッパーをはじめ、こだわりのアイテムを豊富に品揃えています。



GABAN®はスパイスだけでなく、“本物”のおいしさを持つ、様々な食材・調味料をお届けしています。ケーパース、ブラックオリーブ、粒入マスタードなど、どの料理にも対応できる食材・調味料をラインナップしています。

事業領域

レストランから家庭へ、食品メーカーへ 「食」の変化とともに広がるギャバンのポテンシャル

外食産業

プロのシェフの要求に応える 高品質で豊富なスパイス

㈱ギャバンは創業以来、外食産業向けに高品質で豊富なスパイスを提供し続けています。一流のシェフが腕を競い合う外食産業において、その最先端のニーズに応えるとともに、そこで蓄積した情報やノウハウを他の分野での商品開発に活かしています。

4つの 事業領域

「食」の新たな領域へ 食品メーカーとの パートナーシップ

原料調達から生産まですべて㈱ギャバンで行うバルクスパイス供給体制をバックボーンに、食品メーカー向けのスパイス原料の供給拡大に取り組んでいます。

食品メーカー

家庭用

GABAN®ブランドの 高級スパイスを家庭の食卓へ

プロのシェフが使っているスパイスを家庭でも——。そんなお客さまの声にお応えして、2005年2月から、㈱ギャバンが生産を、ハウス食品㈱が販売およびマーケティングを担当する体制のもと、GABAN®ブランドのスパイスを展開しています。

日本からアジアへ、 世界へ広がる グローバル展開

原料調達から生産・販売まですべて海外で行う体制を確立し、グローバル戦略においても積極的な展開を図っています。マレーシア工場から日本ばかりでなく、アジア、オセアニアなどの10カ国以上にスパイスを供給しています。

海外

TOPICS



(株)ギャバンとの取組

業務用香辛料の調達・販売を
主な事業領域とするギャバンと、
香辛料を加工してカレーやシチュー等の
開発・販売を事業領域の一つとするハウスが
一つのグループになることで、



グループとして新しい価値を創造する力の
更なる強化に努めてまいります。

1 「BtoB」事業の強化 —新たな販路の構築—

- ギャバンのブランド力と、業務用と家庭用でギャバンおよびハウスがそれぞれ築き上げてきたお客さまとの販売接点（チャンネル）を活用し、新たな販路を築いてまいります。

2 バリューチェーン軸※における 川上領域の拡大・強化

※ 原材料の調達からお客さまの消費にいたるまでの一連の活動

- 原材料の調達面では、ギャバンとハウスの両社が保有する調達力を活かし、競争力を強化してまいります。

3 スパイス事業の強化

- マレーシアにあるGaban Spice Manufacturing (M) SDN. BHD. においては、特にスパイスの1次加工拠点としての活用の検討を進め、グループトータルで生産拠点および製造ラインの合理化を図ってまいります。



シチューの季節がやってきた!

寒い冬には、温かいシチューがぴったり!

ここでは、発売50周年を迎えた「シチューミクス」と、北海道生まれの原料にこだわった「北海道シチュー」シリーズの、こだわりや歴史についてご紹介します。

“ハウスのシチュー”
2大ブランドをご紹介します



ハウス食品株式会社
事業戦略本部 食品事業二部
田村 紘嗣

担当者コメント

50年間で培ってきた“温かい”ブランドイメージを踏襲しつつ、これからの家族の形に合わせた新しいご提案にもチャレンジしていきます。



○ ブイヨンの味わい豊かなコクのあるシチュー

「シチューミクス」

おかげさまで発売から50年を迎えました

ブイヨンのうまみとコク、また溶けやすい顆粒タイプが特徴の「シチューミクス」が、おかげさまで発売から50年を迎えました。「シチューミクス」が誕生したのは1966年。当時はまだ日本の食卓に定着していなかったシチューでしたが、今では多くのご家庭で定番メニューとして広く食べられるようになりました。2016年8月には、うまみとコクがより強化された「シチューミクス<クリーム濃厚仕立て>」を新発売しラインナップに加えました。これからも、さらにお客さまに親しまれるブランドへ進化してまいります。

笑顔とぬくもり50年

発売以来、お客さまの使い勝手を高めるため“溶けやすさ”の向上を追求し続けてきました。これからも、愛され続ける製品であるよう、開発、改良に取り組み、「笑顔」と「ぬくもり」をお届けしてまいります。

1995年

無加水造粒製法に進化

水を加えない無加水造粒製法を導入。ダマになりにくく、風味豊かになりました。



1972年

粉末タイプから顆粒タイプへ

より溶けやすい顆粒タイプに改良



1966年

シチューミクス誕生





担当者コメント

「北海道の雄大な自然の恵みをお届けする」というブランド理念を大切にしながら、更なる製品価値向上に努めていきます。



ハウス食品(株)
事業戦略本部 食品事業二部
小向 香沙美

○ “北海道”にこだわった上質な味わい

北海道シチュー

発売当初から北海道生まれの原料にこだわっています

「北海道の雄大な自然の恵みを活かしたクリーミーで、コクのあるシチューをみなさまにお届けしたい。」そんな思いから、1996年に「北海道シチュー」が誕生しました。発売当初から北海道生まれの原料にこだわり、多くのお客さまにご愛用いただいております。2015年にはデミグラスソースの濃厚なおいさが味わえる「北海道シチュー<ビーフ>」を発売。「北海道シチュー」はまた新たな一歩を踏み出し、その世界を広げています。

北海道生まれの原料にこだわりました

生クリーム



北海道産生乳100%で、乳脂肪分50%のコクのあるものを使用
(クリーム)・(コーンクリーム)・(ビーフ)で使用

コーン



北海道で収穫後、24時間以内に粉末化した、もぎたてのスイートコーンのパウダーを使用
(コーンクリーム)で使用

チーズ



北海道産生乳100%の、熟成度合いが厳密に管理されたゴーダチーズや、マスカルポーネなどを使用
(チーズクリーム)で使用

デミグラスソース



北海道産のビーフエキス・にんじん・たまねぎを使用
(ビーフ)で使用

※写真はイメージです。

北海道シチューシリーズ



<クリーム>



<コーンクリーム>



<チーズクリーム>



<ビーフ>

NEW & FRESH UP

新製品 & フレッシュアップ一覧



NEW

シチューミクス
<クリーム濃厚仕立て>



NEW

北海道チャウダー
<クラムチャウダー用>

FRESH UP



プライム
パーモントカレー
<中辛>

FRESH UP



プライム
ジャワカレー
<中辛>

FRESH UP



ヘルシーオカレー
シリーズ

FRESH UP

ザ・ホテルシリーズ



NEW

グラチネ
ペンネリガーテグラタン
シリーズ



NEW



プロクオリティビーフカレー4袋入り
<まろやかブレンド>

NEW



カレーマルシェスペシャリテ
<羊とマッシュルームのカレー>

NEW



スパイスクッキング
豆苗炒め

NEW

特選本香り
やさしい辛さの
生わさび



FRESH UP

ウコンのカシシリーズ



株主のみなさまへのお知らせ

株主優待のご案内

6月・12月の年2回、半年以上継続して単元株（100株）以上の株式を保有の株主さまを対象に、当社グループの製品詰合せを「株主優待」として贈呈しております。本年6月より、新たに200株～1,000株未満の株式を保有の株主さまに対する株主優待を新設いたしました。

100株～200株未満
保有

1,000円相当の詰合せ



200株～1,000株未満
保有

2,000円相当の詰合せ



1,000株以上
保有

3,000円相当の詰合せ



※写真は、2016年12月上旬に贈呈した株主優待製品です。

ホームページやSNSで

最新情報をお届けしています



ニュースリリース
掲載通知の
メールサービス
のご登録。

登録画面▶

ニュースリリースURL <http://housefoods-group.com/newsrelease/index.html>

ハウス食品グループLINE 公式アカウントのご案内

新製品・CM・レシピ情報をはじめ、LINE限定キャンペーンなどおもしろく楽しい情報をお届けします。ぜひお友だちになってくださいね。



©やなせたかし/やなせスタジオ

「リンゴキッドとなかまたち」のご紹介

ハウス食品グループでは、日々の食事の大切さ、健康への想いをつづる「ハウス劇場リンゴキッドとなかまたち」をホームページで公開しております。

登場するキャラクター達は、故やなせたかしさんとやなせスタジオのみなさんが考案したキャラクターで、株主優待製品の外箱や、ハウス食品グループLINE公式アカウント等で使用しております。ぜひ「ハウス劇場リンゴキッドとなかまたち」のページに遊びにきてくださいね。



コーポレートデータ

会社概要 (2016年9月30日現在)

創業年月日 1913年11月11日
設立年月日 1947年6月7日
資本金 9,948,323,523円
事業内容 グループ戦略立案、事業会社(国内・海外)への経営サポートならびに国際事業統括
従業員数 261名(連結:6,783名)
所在地
 大阪本社 〒577-8520
 大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号
 東京本社 〒102-8560
 東京都千代田区紀尾井町6番3号

役員 (2016年9月30日現在)

代表取締役社長 浦上 博史
代表取締役専務 松本 恵司
専務取締役 広浦 康勝
常務取締役 工東 正彦
 (ハウス食品株式会社 代表取締役社長兼務)
取締役 藤井 豊明
取締役 田口 昌男
取締役 小池 章
取締役 白井 一夫
 (ハウスウェルネスフーズ株式会社 代表取締役社長兼務)
取締役(社外) 山本 邦克
取締役(社外) 西藤 久三
監査役 塩田 昇司
監査役 加藤 浩
監査役(社外) 進藤 大二
監査役(社外) 蒲野 宏之
監査役(社外) 藤井 順輔

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日
中間配当制度 あり
定時株主総会 毎年6月開催
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
株主名簿管理人事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
郵便物送付先およびお問合せ先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎ 0120-782-031
公告の方法 電子公告により、当社ホームページ
<http://housefoods-group.com> に掲載して行います。
 ただし、電子公告を行えない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所 東京
証券コード 2810

株式の状況 (2016年9月30日現在)

発行済株式総数 102,758,690株
発行可能株式総数 391,500,000株
株主総数 70,451名
1単元の株式数 100株

株式に関するお手続きのお問合せ先

お手続き内容	口座の種類	
	証券会社の口座に登録された株式	特別口座に登録された株式 [※]
住所変更、単元未満株式買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更などの各種手続	口座を開設されている証券会社	三井住友信託銀行 証券代行部 ☎ 0120-782-031
郵送物の発送と返戻に関するご照会	三井住友信託銀行 証券代行部 ☎ 0120-782-031	
支払期間経過後の配当金に関するご照会		
株式事務に関する一般的なお問合せ		

※株券電子化実施(2009年1月5日)に際し、証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構(ほふり)に株券を預託されなかった株主さまのお名前、ご住所などのデータは、当社が三井住友信託銀行に開設した「特別口座」に登録されております。

株式に関するその他のお問合せ先

ハウス食品グループ本社株式会社 総務部 電話06-6788-1214
 受付時間 平日9時～17時30分
 (夏期休暇・年末年始休暇および創業記念日(11月11日)を除く)

株式に関する「マイナンバー」制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主さまから、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主さまのマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- * 配当金に関する支払調書
- * 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問合せ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主さま
お取引の証券会社までお問合せください。
- 証券会社とのお取引がない株主さま
下記のフリーダイヤルまでお問合せください。

三井住友信託銀行 証券代行部
 ☎ 0120-782-031

ハウス食品グループ ファミリーコンサートにご招待

ハウス食品グループでは「食でつなぐ、人と笑顔を。」というメッセージを掲げ、笑顔ある暮らしを共に作るグッドパートナーを目指し、さまざまな活動を行っております。お子さまの健やかな成長を「音楽」を通してサポートしたい。ご家族で過ごす時間を豊かで思い出深いものにしたい。そんな思いを込めて開催する「ハウス食品グループ ファミリーコンサート」へ、株主さまをご招待いたします。詳細につきましては、対象の株主さまに「ハウス食品グループ ファミリーコンサートのご案内」を同封しておりますので、ご確認ください。



©上野隆文

House ハウス食品グループ ファミリーコンサート

～名作アニメを観ながら聴く、はじめてのオーケストラ体験～

抽選で合計350組(700名さま)の株主さまをご招待いたします。

※2016年9月末日現在、当社株式100株以上ご所有の株主さまを対象といたします。

♪ プログラム ♪

第1部

オーケストラ・アカデミー
～クラシックの名曲を気軽に楽しく～

- ♪ 歌劇「カルメン」より
前奏曲(闘牛士)
- ♪ 「トランペット吹きの休日」
- ♪ 「G線上のアリア」
- ♪ 「バンジョーとフィドル」
- ♪ 「チャールダーシュ」
- ♪ 交響曲第5番「運命」
第1楽章

第2部

名作! アニメ・コンチェルト!!
～映像付きコンサート～

- ディズニー「ファンタジア」
組曲「くるみ割り人形」より
- ♪ 「花のワルツ」「中国の踊り」
「アラビアの踊り」「トレバック」
- バグス・バニー「ラビット狂騒曲」
- ♪ 「ハンガリー狂詩曲」
第2番嬰ハ短調より
- トムとジェリー「ネズミ取り必勝法」
- ♪ 「神の子はみな踊る」ほか

※本公演はウォルト・ディズニー社、ワーナー・ブラザーズ社とは一切関係ありません。

公演名	開催日	ご招待人数
関西公演	2017年4月 2日(日)	100組(200名さま)
東京公演	2017年4月 9日(日)	100組(200名さま)
熊本公演	2017年4月23日(日)	50組(100名さま)
仙台公演	2017年4月30日(日)	50組(100名さま)
郡山公演	2017年5月28日(日)	50組(100名さま)

※詳細・応募方法につきましては「ハウス食品グループ ファミリーコンサートのご案内」をご覧ください。

ご注意事項

※誠に不好意思ですが、4歳未満のお子さまのご入場はご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。
※やむを得ない事情により、演奏曲目等が変更となる場合がございます。

ハウス食品グループ本社株式会社

〒577-8520
大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号

<http://housefoods-group.com>

UD FONT

